



アマチュアオーケストラ

新交響楽団第109回演奏会

ベルリオーズ：序曲「ローマの謝肉祭」作品9

Hector Berlioz : Overture <Le carnaval romain> op.9

ベートーヴェン：ピアノ協奏曲第5番 変ホ長調「皇帝」作品73

Ludwig van Beethoven : Konzert für Klavier und Orchester Nr.5 Es-dur <Kaiser> op.73

I Allegro

II Adagio un poco mosso

III Allegro

※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※

チャイコフスキー：交響曲第4番 へ短調 作品36

Peter Ilych Tchaikovsky : Symphony No.4 f-minor op.36

I Andante sostenuto. Moderato con anima etc.

II Andantino in modo di canzona

III Allegro Scherzo Pizzicato ostinato

IV Finale : Allegro con fuoco

指揮 芥川也寸志

ピアノ独奏 須田真美子

1985年11月3日（日）午後2時

東京文化会館大ホール

主催：新交響楽団

出 演 者 紹 介

芥川 也寸志（音楽監督）

1925年東京に生まれる。1947年東京音楽学校本科作曲部を卒業。和声を下総皖一、対位法を細川碧、作曲法を橋本国彦、ピアノを永井進に学び、その後伊福部昭に師事。1956年新交響楽団の創立以来、音楽監督として同団の中心的存在である。

主要作品は、「交響3章」「交響管弦楽のための音楽」「弦楽のための3楽章（トリプティーク）」「交響曲第1番」「エローラ交響曲」「オスティナタ・シンフォニカ」「チェロ協奏曲」「オーケストラのためのラブソディ」など。

広島をテーマにしたオペラ「ヒロシマのオルフェ」でザルツブルグオペラ賞を受賞するほか、国内の各種音楽賞を数多く受けている。また、さきごろこの「ヒロシマのオルフェ」が、モスクワにあるスタニスラフスキー記念ダンチェンコ劇場のレパートリーに加えられた。

現在、新交響楽団音楽監督の他、宮城フィルハーモニー管弦楽団音楽総監督、日本作曲家協議会会長、日本音楽著作権協会理事長。



須田 真美子（すだ・まみこ）ピアノ

東京に生まれる。幼小より音楽コンクール入賞。桐朋学園高校音楽部卒業、音楽賞受賞。

1970年フランス政府給費留学生として渡仏、パリ国立音楽院ピアノ科入学。同校首席卒業、ロジェ・デュカス特別賞受賞、室内楽科を一等賞で卒業。

1974年よりヨーロッパ各国のコンクールに入選。75年東京にてデビューリサイタルを開く。その後フランス・イギリス各地で演奏。

1980年ロンドン・モーツァルト・コンクール・ピアノ部門第1位。ロンドン、ルーアン・サンロー、ヴェルサイユ、スペイン、ホンコン、東京にてリサイタル開催。1983年ロンドン・ロイヤル・アルバートホールにて協奏曲を演奏。ベルギー、フランス、スイスにてリサイタル。ツヴィ・ハレル（Vc）、石井志津子（Vn）はじめ室内楽の協演多数。

1985年第11回ショパン協会賞受賞。日本演奏家連盟主催ピアノフェスティバルに出演。各地でリサイタル。

江戸弘子、井口基成、レイモン・トゥルアール、ヴラド・ペルルミュテール、ベンジャミン・カプランの諸氏に師事。



曲 目 解 説

ベルリオース／序曲・ローマの謝肉祭

日本人が $\frac{6}{8}$ のリズムが苦手なのは、「東京音頭、阿波踊り」という似ていながら全く違うリズムを祖先から受け継いでいるからだと言われているが、今日、新響はやってしまう。

さて内容だが、この曲はとりたてて解説を必要としない。なぜなら、お祭りだからである。しかし一寸ご紹介しよう。冒頭のアレグロの序奏が終わると、牧歌調4分の3拍子、コールアングレのソロ。そして8分の6拍子、イタリア・サルタレロ風リズムに乗った主部に入る。あとは楽しいお祭り騒ぎであるが、ベルリオースの天才的オーケストレーションが随所に光っている。

ベートーヴェン／ピアノ協奏曲第5番《皇帝》

第1楽章 ドミソ、ドファラ、シレソというのは小学校のおじぎの和音であるが、変ホ長調のⅠ、Ⅳ、Ⅴ $\frac{7}{4}$ の和音を見事にそのまま冒頭に持ってきて、おまけに最初からカデンツァをやってしまうという大胆な開始をしたのがこの「皇帝」である。

ベートーヴェンは明快だ。「運命」の3楽章から続けて4楽章になだれ込んだ時のドミソ。これほど燦然と光輝いた、ありがたいドミソは他に例がないだろう。

とにかく、この明快な3つの和音と、それをめぐるピアノのカデンツァが終わると、オーケストラによって変ホ長調の第1主題が力強く現われる。

第2楽章 調性は1楽章の変ホ長調からシャープ5つの口長調にがらりと変わるが、1楽章の主音Esと異名同音のDisで2楽章の旋律は始まっている。深く落ち着いた緩徐楽章で、後半はベートーヴェン得意のフィナーレへの移行部分になっている。木管の主旋律にピアノが16分音符でオブリガートを奏する部分の後、ファゴットのHの音からホルンが半音低いBの音に受け継ぐ。ピアノは3楽章の主旋律をほのめかし、どこまで続くかと思われるホルンのB音にのってアレグロの**第3楽章**にそのまま入る。ピアノで示された3楽章の主題はオーケストラの全合奏で華々しく奏せられる。コーダではティンパニのB音のリズムの上にピアノが絶妙なゼクエントでディミヌエンド・リタルダンドし、最後は全合奏で圧倒的な主和音をもって終了する。

チャイコフスキー／交響曲第4番

第1楽章 「これは運命です。これは幸福を妨げる運命の力であり……」という“解説”は、チャイコフスキーが自分の大スポンサーであるフォン・メック夫人にあてた手紙として、どんなスコアにも、レコードのジャケットにも必ず登場する文章である。しかし、たまには先入観にとらわれずにこの曲を聞いてみるのもいいのではないだろうか。

先入観といえば、《悲愴》という曲も、この題名のゆえにずいぶん誤解されているようだ。例えば、2楽章が5拍子であるというだけの理由で「5拍子という特異なワルツは人生の不安をどことなく表わしている」式の、情緒的評論家的な解説が多いのも困ったものだ。

さて、この第4交響曲の第1楽章は、かなり手の込んだ曲で、チャイコフスキー自身も「この曲の中で一番困難な楽章」と言っている。主部は8分の9拍子で、変則的ワルツ風。至る所でシンコペーションが複雑にからみ合っている。圧倒的な盛り上がりした後、モルト・ビウモッソで終わりへ突入する。（このヴァイオリンの旋律は「さらってない、さらってない」……または「さらってこーい……」と聞こえることで有名。）



第2楽章 メック夫人への手紙によると「仕事に疲れた夕暮れの書斎」というオレンジ色の楽章。やはり夕暮れ色のオーボエのソロで始まり、農民舞曲風な中間部をもつ緩徐楽章。

第3楽章 バラライカの合奏の音色をイメージしたともいわれるこの楽章では、弦楽器の弓は1回も使われない。中間部のピッコロのソロは、オーケストラのオーディションにしばしば使われるというウワサもある。

第4楽章 有名な冒頭部が終わるとすぐ、「へべれけちゃん死んだ」の旋律が現われるが、これは別名「白樺」



ともいわれ、ウクライナの悲しい酒飲み男の物語である。という話は真赤なウソだが、この旋律がいろいろと展開されながら突然1楽章冒頭部に飛び込む。その後はコーダで、センプレfffのうちに一気に呵成に終結する。

(K. IMAO)

新 響 フ ォ ー カ ス

新交響楽団（新響）は1956年3月に創立されて以来、30年近くにわたり自主的に運営されているアマチュアオーケストラです。百余名の団員の職業は、会社員55%、教職員15%、主婦10%、自営業・医療関係・公務員・学生各5%と多岐にわたっています。会社員の1/3は電機関係のメーカーで、これもコンピューター全盛の世の中を反映しているのでしょうか。

創立以来、音楽監督芥川也寸志の指導のもとに、自主演奏会のほかソビエト及び国内の演奏旅行など、幅広い活動を行なってきました。演奏曲目も、1966年の創立10周年にはベートーヴェンの交響曲全曲演奏、1970年にはストラヴィンスキー3部作一挙上演と、すこしずつ増やしてきました。

1976年の創立20周年記念演奏会「日本の交響作品展」により、「芥川也寸志と新交響楽団」は、アマチュアオーケストラとしては初めて第8回サントリー音楽賞を受賞、以来この邦人作品シリーズは、次ページの通り毎年1回ずつ継続されています。また1979年の第86回演奏会以来、名誉指揮者山田一雄の指導により、G. マーラーの交響曲に取り組み始めました。そしてこのマーラーシリーズも、これまでに7回を数えています。

新響は邦人・マーラーを含め年4回の自主演奏会の他に、公共団体・学校等の依頼演奏会も行なっています。また自主演奏会には公共機関や民間団体からの継続的な財政援助は一切なく、団員自身の負担と聴衆の皆様の中から組織された維持会制度に依って運営されています。そのような手作りの音楽演奏を通じ、新響はアマチュアオーケストラの可能性を最大限に追及しています。



創立30周年間の予定

第110回演奏会

1986年4月6日(日) 東京文化会館
指揮 山田一雄
G. マーラー：交響曲第8番

第111回演奏会

7月20日(日) 新宿文化センター
指揮 芥川也寸志

第112回演奏会

9月23日(火・祭) 新宿文化センター
指揮 山田一雄

第113回演奏会 [30周年記念演奏会]

11月下旬 東京文化会館
指揮 芥川也寸志

団 員 募 集

新交響楽団では、創立30周年を目前にし、より良い演奏活動を行なっていくために、今、若いあなたの力を待っています。年4回の自主演奏会その他、依頼演奏会、団内コンサートなど、決して楽しむだけの活動ではありませんが、より充実した音楽生活を通じ、共に演奏する喜びを分かちあってゆきたいと思えます。入団希望者には簡単なオーディションを行ないます。

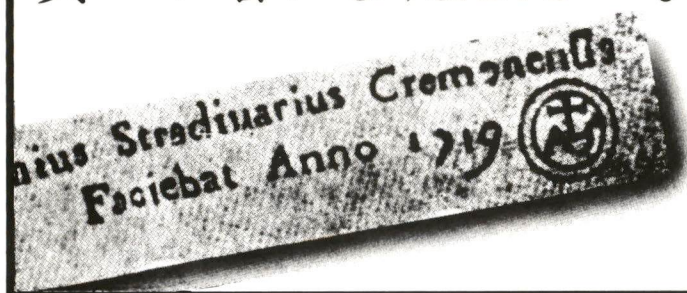
練習時間：毎週土曜日6時～9時
(他に日曜の臨時練習、年2回合宿あり)
練習場所：東京文化会館Aリハーサル室他

団 費：入団費 3,000円/毎月 2,500円(学生 2,000円)
連絡先：(日中) 03-851-3671 松本英作
(夜間) 044-955-8026 米倉

日本の交響作品展 (指揮：芥川也寸志／会場：東京文化会館)

- 1976 I：[1] 平尾貴四男＝古代讃歌／箕作秋吉＝小交響曲二長調／大木正夫＝組曲「五つのお伽噺」／尾高尚忠＝日本組曲／早坂文雄＝古代の舞曲
[2] 清瀬保二＝日本祭礼舞曲／安部幸明＝小組曲／高田三郎＝山形民謡によるバラード／諸井三郎＝小交響曲 変ロ短調／伊福部昭＝交響譚詩
- 1978 II：小倉 朗＝交響組曲 イ短調／日本民謡による5楽章／オーケストラのためのブルレスク／交響曲 ト調／オーケストラのための舞踊組曲／ヴァイオリン協奏曲／弦楽合奏のためのコンポジション／オーケストラのためのコンポジション 嬰へ調 独奏：Vn 都河和彦
- 1979 III：早坂文雄＝映画音楽「羅生門」から／古代の舞曲／左方の舞と右方の舞／管弦楽のための変容
- 1980 IV：伊福部昭＝オーケストラとマリムバのためのラウダ・コンチェルタータ／ヴァイオリン協奏曲 第2番／タップカーラ交響曲 独奏：Mari 安部圭子 Vn 小林武史
- 1981 V：菅原明朗＝交響写景「明石海峡」／チマローザの断章による合奏協奏曲／アコーディオンのための協奏交響曲／交響的幻影 イタリア 独奏：Acc 御喜美江
- 1982 VI：清瀬保二＝郷土舞踊／エレジー／古代に寄す／ピアノ協奏曲／日本祭礼舞曲 独奏：Pf 林 光
- 1983 VII：[青春の作曲家たち] 小倉 朗＝交響組曲 イ短調／松平頼則＝南部子守唄を主題とするピアノとオーケストラの為の変奏曲／戸田邦雄＝交響幻想曲「伝説」／渡辺浦人＝交響組曲「野人」／別宮貞雄＝管弦楽のための「二つの祈り」 独奏：Pf 土屋律子
- 1984 VIII：[東北の作曲家たち] 伊藤俊幸＝オーケストラの為のコンポジション／佐藤喜美＝前奏曲「エメラルドの幻影」／林芳輝＝箏と管弦楽の為のラプソディ／安達弘潮＝語部とオーケストラの為の交響的物語「遠き神々の物語」／片岡良和＝抜頭によるコンポジション 独奏：箏 松坂尚子 語り：熊倉一雄
- 1985 IX：小山清茂＝管弦楽のための信濃囃子／弦楽のための「アイヌの唄」／テープを伴った管弦楽のための「鄙歌」第一番／管弦楽のための「うぶすな」／交響組曲「能面」

真心が音になりました…。。



音を研究する—————
木を選別する—————
決して妥協しないかわりにその細部に至るまで最高の技術と愛情を注ぎ込む。
徹底した品質至上主義こそ私達の真心です。
当社では、オールドのバイオリンをはじめ、ビオラ、チェロ、コントラバスに至るまでの弦楽器の数々を取りそろえ随時500本の在庫を用意しております。是非一度ご試奏下さい。

●お問い合わせ・販売元



文京楽器製造株式会社

〒112 東京都文京区小石川2-1-11 ☎03(811)2084

■営業時間／9:00AM～6:00PM 日・祭日休業

かたときも
離せない音楽。



JASRAC

日本音楽著作権協会

理事長 芥川 也寸志

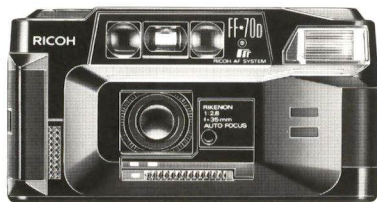
RICOH

明快だね、ルイ。



全情報をオペレーションパネルでキャッチ。

いまいちばん新しいフルオート35ミリカメラリコー〈マイポート・ルイ〉



- リコーオートフォーカスシステム
- プログラム自動露出システム
- フィルム操作のフルオートマチックシステム
- フルオートストロボシステム
- スローシャッターも可能なAEワイドレンジ
- DX対応オートシステム
- 日付け・時間を写し込むオートデートメカニズム (FF-70Dのみ)

新登場

マイポート・LUI

RICOH FF-70 標準価格(本体) 45,800円 ケース 2,000円
RICOH FF-70D 標準価格(本体) 50,800円 ケース 2,000円

みんなのハートにstrike



ボウリングの魅力、再発見。

- パーティーがつくとはりきり方も違う。
楽しかったボウリング大会のあとのアルコールは、また格別です。スコアがのびなかった人も充分満足できるでしょうし、表彰式を兼ねたパーティーはいつそう盛り上がります。
- ファミリーボウリングにも最適。
一家揃ってのスポーツ。それは楽しいものです。お子様からお年寄りまでみんないっしょに楽しめます。おかあさんがドキドキしながら投げたら見事ストライク! ボウリングを楽しみながら、家族の絆を深めます。

蒲田東急スポーツセンター

蒲田駅東口公園前・大田区蒲田5丁目36番(732)6101代

全所 新 ミラボウル 58
レーン

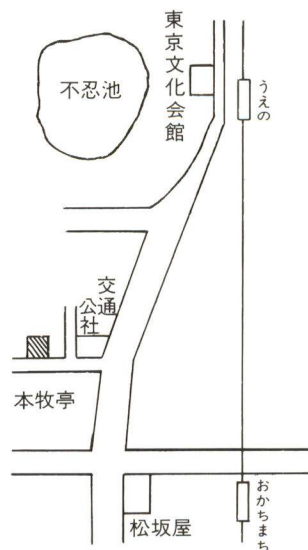
新宿区歌舞伎町1-29-1新宿東急文化会館5階

☎03(200)1722、1733

とんかつ 武蔵野

演奏会のお帰りにお立ち寄り下さい
60名様までのご宴会うけたまわっております

台東区上野2-8-1 (本牧亭向い) TEL. 831-1672





世界の名器直輸入販売

どうぞ電話でお問合せください。

NERO MUSIC CO., LTD.

〒150 東京都渋谷区渋谷2-9-10(キングビル)
TEL.400-7466,

営業時間 平 日 AM10:00~PM8:00
日 祭 日 AM10:00~PM6:00

電子楽器からオーケストラまで 楽器輸送のエキスパート

(東京) 田 中 陸 運 (全)

電話 (370) 6275
東京都渋谷区代々木4-60-10

SHIBUYA

JUN

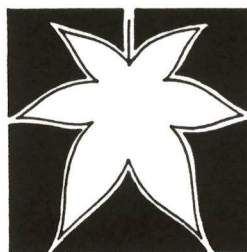
DOMON
PRODUCE OF ROPE

Ex
Yumiko Tamura JUN

OHNISHIYA

2-29-7 DÔGENZAKA SHIBUYA 463-0555

15-1 UDAGAWA SHIBUYA PARCO PART II 476-4488



さとうはな
弦楽器
Sato Violin Workshop ●

バイオリン、ビオラ、チェロの修理、調整

当工房製新作手工バイオリン

弓、弦、ケース、パーツ類

10:00AM-7:00PM

日曜・祝日定休

ご来店の際、予めお電話
いただければ幸いです。

☎03-463-4406

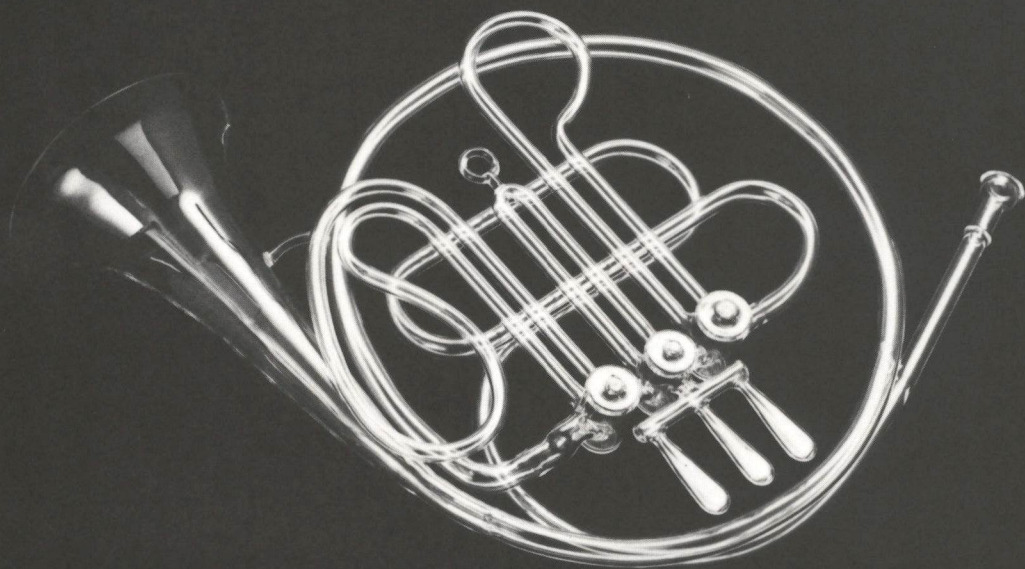
〒150 東京都渋谷区神南1-20-13 工業ビル201 株式会社佐藤弦楽器

いい器には豊かな表情がある



感性と技能の調和から生活を彩り、味わいを深める
美しさと個性を備えた商品を佐々木硝子は、
おとどけてまいります。

光のすきまを優しい風が吹きぬけたとき
クリスタルの輝きがかもしだす、透明な音色が
皆さんの心に響きます。



ガラスの楽器コレクション ホルン

試作品 硼珪酸ガラス



佐々木硝子株式会社

〒103 東京都中央区日本橋馬喰町2-2-6 ☎(03)663-1211